

第2次群馬県企業局経営基本計画の概要（素案）

資料2

1 計画策定の趣旨

- (1) 将来を見据えた事業運営を行うため、中長期的な視点に立った経営の基本方針等を示すもの
- (2) 県の「新・総合計画（ビジョン・基本計画）」を踏まえ、企業局分野における最上位計画
- (3) 計画期間は令和3年度からの10年間（ただし、5年経過時に改定を予定）

3 新・総合計画（ビジョン）のポイント

- (1) 変化の見通し：①「ニューノーマル」への転換、②「弱み」が「強み」へと変化する好機
- (2) 目指す姿：①「群馬の土壌と融合したデジタル化」と「100年続く自立した群馬」を達成、②全ての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会の実現
- (3) 実現へのロードマップ：地域経済循環や官民共創コミュニティなどの長期持続策を展開しつつ、群馬に根差した「始動人」を育成

2 企業局を取り巻く環境の変化の見通し

- (1) 人口減少社会の本格的な到来
- (2) 施設の老朽化
- (3) 電力システム改革への対応
- (4) 地震・記録的豪雨等の自然災害リスクの増大
- (5) 2050年脱炭素社会の実現（再生可能エネルギーの環境価値の高まりと水素などの新エネルギー開発）
- (6) Society 5.0社会に向けたDX

4 20年後に目指す企業局の将来像

県民生活や企業活動に欠かせないサービスを安定的かつ持続的に提供するとともに、社会環境の変化に的確に対応した積極的な事業運営を行い、**地域発展の礎となる社会基盤づくり**と本県が目指す「**県民の幸福度の向上**」に貢献

5 経営の基本方針

経営の安定性の維持に努めつつ、進取の精神のもと、新たな取組に果敢に挑戦し、成長を目指すとともに、地域や環境への貢献を果たしていくため、3つの経営の基本方針を定める。

- (1) 収益力の向上
- (2) 効率的な運営
- (3) 変化の時代における柔軟な対応

6 各事業の施策体系

事業	目指す将来像とのギャップ	経営方針（施策の方向性）	20年後の各事業の将来像	R12目標値
電気事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいる。 新規水力発電所の候補地が奥地化・小規模化している。 環境価値の高いCO₂フリー電力の地産地消が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 電力の安定供給 (2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消 (3) 収益力の向上と効率的な運営 	「電力の安定供給と再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消」により、脱炭素社会の実現と地域のエネルギー自給率の向上に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 運転可能率 98.3→99% 水力発電所リニューアル 4か所 新規発電所の建設 5か所
工業用水道事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでおり、更新・改良により強靱化をはかる必要がある。 施設能力に対して、契約水量が少なく、施設利用率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 強靱な工業用水道の構築 (2) 収益力の向上と効率的な運営 (3) 良質な工業用水の供給 	「災害に強く、良質な工業用水の安定供給」により、地域経済の発展に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 年間契約水量 72,327→75,092千m³ 渋川工水の更新・改良（浄水処理能力の耐震化率） 0→100% 管路耐震化率 39.6→100%
水道事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでおり、更新・改良により耐震化などの強靱化をはかる必要がある。 施設能力に対して、協定水量が少なく、施設利用率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 安全で質の高い水道水の供給 (2) 強靱な水道の構築 (3) 収益力の向上と効率的な運営 	「災害に強く、安全で質の高い水道水の安定供給」により、県民のライフラインを守ることに貢献	<ul style="list-style-type: none"> 年間協定水量 65,536→69,256千m³ 県一の更新・改良（浄水処理能力の耐震化率） 29.0→100%
団地造成事業	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や企業ニーズに即応できる産業用地が減少する一方、企業ニーズへの柔軟な対応が必要である。 住宅用地の分譲が低迷している。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成 (2) 企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲 (3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進 	「時代のニーズに対応する地域特性を活かした団地開発」により、地域経済を支える産業振興・地域振興に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 産業団地造成面積 250ha 新エネルギー活用住宅モデル事業の実施 30区画以上の分譲開始
施設管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の老朽化が進んでおり、採算性や公益性を踏まえた今後の事業のあり方を検討する必要がある。 コロナ禍における事業運営のあり方を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 収益力の向上と効率的な運営 (2) 広く県民に親しまれるゴルフ場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 「良質なサービスの提供と効率的な運営」により、地方公営企業として県民福祉の向上に貢献 パブリックゴルフ場としてのニューノーマルに対応した事業運営 	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸ビル入居面積 3,686→4,232m² ゴルフ場利用者数 1ゴルフ場当たり 45,000人/年

7 各事業の経営方針・主な取組・ロードマップ

企業局に関するSDGsの目標(ゴール)



※赤字は、本計画において新規に取り組むもの。

項目	経営方針・主な取組	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
電気事業	電力の安定供給										
	水力発電所のリニューアル (四万発電所、白沢発電所等)										
	オイル減量化の改修										
	計画的な修繕及び改良の実施										
	ICT等を活用したDXの推進										
	保守管理の徹底										
	再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消										
	新規水力発電所の建設 (霧積発電所ほか4か所)										
	新規水力発電の開発可能性調査の実施										
	水素発電の導入										
	CO ₂ フリー電力の地産地消プログラム「電源群馬水カプラン」の活用推進										
	収益力の向上と効率的な運営										
	売買契約における一般競争入札への移行										
	維持管理の効率化										
	発電所及び発電用ダム等を地域活性化の資源として活用										
市町村、海外等に対する技術支援											



7 各事業の経営方針・主な取組・ロードマップ

企業局に関するSDGsの目標(ゴール)



※赤字は、本計画において新規に取り組むもの。

項目	経営方針・主な取組	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
工業用水道事業	強靱な工業用水道の構築										
	耐震化の推進(〔渋川〕施設の更新・改良、〔東毛〕管路の改良)										
	計画的な修繕、更新・改良										
	保守管理の徹底、危機管理体制の充実										
	収益力の向上と効率的な運営										
	アセットマネジメントに基づく適正規模での施設更新事業										
	契約水量の確保(新規受水企業の開拓等)										
	検針システムの構築〔東毛〕(DXの推進)										
	浄水発生土の農業や園芸への有効活用										
	良質な工業用水の供給										
企業の生産活動を支える工業用水の安定供給											
地下水を活用した水質改善の取組											
水道事業	安全で質の高い水道用水の供給										
	適切な浄水処理、水質管理体制の充実・強化										
	強靱な水道の構築										
	計画的な修繕、更新・改良(〔県一〕1・2系浄水処理施設更新・改良工事等)										
	保守管理の徹底、危機管理体制の充実										
	DXを活用した保守管理の充実・強化										
	収益力の向上と効率的な運営										
	広域連携に向けた取組として県第二水道の施設利用率の向上										
	受水市町村との連携による効率的な給水計画										
	浄水発生土の農業や園芸への有効活用										
水道発電における再生可能エネルギー電力の自家消費によるコスト削減等											

7 各事業の経営方針・主な取組・ロードマップ

企業局に関するSDGsの目標(ゴール)



※赤字は、本計画において新規に取り組むもの。

項目	経営方針・主な取組	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
団地造成事業 	企業誘致の受け皿となる産業団地の造成 従来型の企業誘致に加え、データセンター等政策的な企業誘致の受け皿づくり 災害リスクを低減した産業団地の造成										
	企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲 CO ₂ フリー電力の地産地消プログラム「電源群馬水カプラン」を活用した企業誘致 良質で安定した工業用水を活用した企業誘致 関係機関と広く連携した企業誘致	計画的な団地造成の継続 市町村等のニーズ把握等 → ニーズに応じた団地造成 (オーダーメイド主体へ) 災害リスクを低減した産業団地の造成・周知等									
	電気事業と連携した企業誘致への活用 工業用水事業と連携した企業誘致 関係機関と広く連携した産業団地の早期分譲	 板倉ニュータウン産業用地									
	街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進 板倉ニュータウンにおける新エネルギー活用住宅モデル事業の実施 戦略的なプロモーションによる住宅団地の分譲	システム検討、工事実施 → モデル事業による住宅用地の分譲開始 戦略的なプロモーションによる住宅団地の分譲の促進									
	施設管理事業 	収益力の向上と効率的な運営 施設管理事業のあり方検討 長期利用者の確保と短期利用の促進 適切な保守管理と施設・設備の更新・改修	あり方検討 → 検討結果に沿った事業運営 各施設の入居者等の確保 保全計画の作成 → 適切な保守管理、施設・設備の更新・改修								
		広く県民に親しまれるゴルフ場づくり ニューノーマルの下での県営ゴルフ場のあり方検討 県営ゴルフ場の特色を活かしたサービスの提供による利用者の確保 適切な保守管理と施設・設備の更新・改修等	あり方検討 → 県営ゴルフ場の効率的な運営 県営ゴルフ場の特色を活かした利用者の確保 整備計画の作成 → 適切な保守管理、施設・設備の更新・改修								
			 新玉村ゴルフ場								

8 全事業共通の主な取組

(1) 経営健全化の取組

- ① 組織体制の整備と適正な定員管理
- ② 人材育成の取組
- ③ 資産の有効活用
- ④ 効率的な資金管理・運用
- ⑤ 民間ノウハウ・活力の活用
- ⑥ 危機管理体制の整備
- ⑦ 法令遵守の徹底



(2) 地域貢献

- ① 「ぐんま未来創生基金」への繰出
- ② 地域振興積立金による文化・スポーツ事業への支援
- ③ 事業用施設・設備を活用した学習機会の提供
- ④ 災害時への備え
- ⑤ 外部に対する技術支援

(3) 経営課題と新規事業の展開に向けた取組

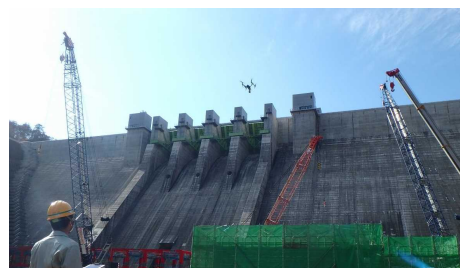
- ① 事業の抜本的な見直し
- ② DXの推進
- ③ 調査研究事業の推進
- ④ PRの実施



群馬交響楽団



ぐんまマラソン



ドローンによるハツ場発電所建設工事の上空からの進捗確認（DXの推進）



令和元年度フォトコンテスト最優秀作品

9 投資・財政計画

- 経営に不可欠の主要な施設について、その耐用年数等を踏まえて維持更新の見通しを立てるとともに、経営基本計画に基づき、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、「投資・財政計画」を策定する。
- 「投資・財政計画」は、主な建設改良の実実施計画である「設備投資計画」と、財源の見通しを試算し投資以外の経費も含めた「財政計画」で構成する。

10 策定スケジュール

	7月～10月	11月	12月	1月	2月	3月
策定作業	素案		原案		議案提出	審議議決
議会		第3回後期		第1回		
その他		有識者ヒアリング		パブリックコメント		